

なんだ・かんだ

◆ 暫定税率廃止の影響 ◆

ガソリン税の暫定税率廃止と維持に与野党が対峙し、租税特別措置法の改正案の年度内成立が難しくなっています。今回租税特別法の延長ができなければ、基本税率に戻り、1リットル当たり25.1円だけガソリン代が安くなるそうです。ここ数年ガソリンが非常に高騰している中で、値下げは非常にありがたい訳ではありますが、反面ガソリンに掛かる税金はその何割かが地方へと分けられ、道路特定財源として我々の地域に落とされますが、その財源がなくなってしまうわけです。「道路特定財源」とインターネットで検索をかけると各地方公共団体が暫定税率が廃止された場合の予算についての説明がずらっと並びます。

この問題は国民にとっては、道路を取るか、ガソリン代の値下がりを取るかの選択なんだと単純に考えていました。

しかし新聞を見て私も最近知ったのですが、今回の期限切れの租税特別措置法により特別措置がされなくなるモノが、合計で43件もあるということです。我々にも関係してくる研究開発税制や中小企業の投資促進税制など法人税減税、他に土地の所有権移転登記に関わる税等々。従来、租税特別措置法は一つ一つの措置を個別審議するのではなく、すべての措置を1本の租税法改正案としてまとめて審議されることになっているということで(野党は分割審議を提案したところ、与党がこれに反対したようです)、ガソリン税で野党が反対すれば、改正案が成立せず、対象となる租税特別措置のすべてが期限切れとなるということです。

土地売買の登記に掛かる「登録免許税」のうち土地に掛かる税金が1%から2%。土地は高いですから1%といっても馬鹿になりません。

また、当社にとって最大の問題は、石油化学用ナフサの石炭石油税免税措置の延長が今回の租税特別措置法改正案に含まれていることです。改正案が通らない場合、免税措置が切れ、1キロリットル当たり2,040円が課税され、年間約1,100億円のコストアップとなるそうです。2006年のエチレンセンター11社の経常損益は2,725億円であり、1/3以上がなくなってしまいます。新聞では価格の転嫁は難しいとされていましたが、その影響は必ず我々中小企業へと及んで来ると思います。

今現在金属製品と石油製品の高騰は我々中小企業にとっては死活問題です。メーカーは有無を言わず値上げしてきます。値上げの要因は、需要と供給そして投機マネーだけではありませんでした。何も決められない日本の政治もその要因の一つでした。



春は平年並み、景気は・・・
寒さも緩みひと雨毎に暖かさを増し、春の足音が聞こえて参ります。昨年は記録的な暖冬で東京では20日には桜の開花が認められました。今年は月末頃から咲き出し、見頃は4月第1週の週末と言ったところでしょうか。桜の開花は平年並みの予想ですが、景気の方は予想も付かない状況になって来ています。サブプライムローン問題の影響で景気は減速し、円高・株安・おまけに材料高。全ては関連している様ですが、いずれにしろ先行きは不透明です。実際昨年未から景気の変調を感じています。アメリカは期待できません。アジアでどこまで景気を牽引出来るのでしょうか。
しかしながら、業績を景気の所為には出来ません。何とかこの状況を乗り切らなければなりません。まずは一番の課題は鉄製品と石油製品の値上げをどうするかということ。これは死活問題です。これを読んで頂いているお客様、是非ご協力をお願いいたします。

代表取締役 服部 敏一郎

新 入 社 員 紹 介

● 清 博 司 ●

今回は、営業グループに中途採用で入社しました、清博司(41歳)の自己紹介です。

今年1月1日より正式に入社致しました、清博司と申します。現在41歳です。家族は妻と4月から小学6年と3年になる息子が2人の4人家族です。(3匹の猫を入れると7人になってしまいます。)長男はサッカー、次男はテニスをやっているの、土日や夜など送り迎えて走らされています。私も今は忙しさにかまけて何もやっていませんが、スポーツは見るのもやるのも大好きでバスケットボールや野球、テニス、スキーなど色々やりしました。その他アウトドアも好きで子供が大きくなって来たのでキャンプなども楽しめるようになりました。

前職は、塗料等の卸売業を営んでいましたが、力不足から経営状態が悪くなり、廃業の道を選びました。その時得意先やお客様への商品の供給をチキリが受けて下さる事になり、その縁から私自身もお世話になることとなりました。

仕事は通常の営業の他に調色業務を行っています。今までチキリでは調色はメーカー調色でしか対応出来なかったのですが、社内で調色出来るようになり、小缶や短納期にも対応出来る様になりました。

ラッカー・ウレタン・フタル酸等、主だった種類は出来ます。塗料についてお困りのことがありましたら御用命下さる様お願い致します。



■ 不都合な真実 ■

クリントン大統領政権時の副大統領であった、アル・ゴア氏が書いた「不都合な真実(ECO入門編)」を読みました。208ページありますが、全編グラビヤの解説付きといった感じで1時間程度で読めてしまいます。

掲載されたデータに作為的な誇張が見られるという指摘はありますが、南極圏の氷の溶けていく様子を写した写真等は背筋が寒くなりました。本書は温暖化問題に警鐘を鳴らす科学者の声にもっと耳を傾けるべきだと訴えています。今家族全員に読ませています。皆様も是非一読頂き危機感を共有して欲しいと思います。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方につきましては、その旨一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社 チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534
E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/